

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 翻訳センター

 コード番号 2483 URL <http://www.honyakuctr.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 東 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼総務部長

(氏名) 中本 宏

TEL 06-6231-8544

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,217	15.4	58	29.4	57	31.5	29	11.3
23年3月期第1四半期	1,054	0.2	45	81.4	44	58.7	26	69.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 29百万円 (12.3%) 23年3月期第1四半期 26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1,747.20	—
23年3月期第1四半期	2,019.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,902	2,083	71.7
23年3月期	3,119	2,120	67.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,083百万円 23年3月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	4,000.00	4,000.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,350	6.9	60	△43.4	60	△38.0	30	△48.1	1,780.94
通期	5,100	7.2	280	0.0	280	3.6	140	0.2	8,311.07

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	16,845 株	23年3月期	16,845 株
24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	16,845 株	23年3月期1Q	13,095 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

また、上記の前提条件その他関連する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により経済活動が一時大きく落ち込んだものの、サプライチェーンの早期回復が進み、景気に持ち直しの兆しが見られました。当社グループにおきましては、震災発生直後は一部案件にキャンセルが発生しましたが、業績における直接的な影響は軽微にとどまりました。このような経済環境のもと、当社グループの売上高は、前年同期比15.4%増の1,217百万円となりました。

分野別の売上の状況につきましては、特許分野は、ソースクライアントの業績回復により当社グループの主要顧客である特許事務所からの受注が増えたことから、売上高は前年同期比16.6%増の347百万円となりました。医薬分野では、複数のメガファーマから大型の新薬申請資料や治験関連資料を獲得したことに加え、国内製薬会社への拡販も奏功したことから、前年同期比16.3%増の391百万円となりました。工業分野では、震災の影響による自動車完成車・部品メーカーへの売上低迷を懸念しておりましたが、一部の自動車完成車メーカーからスポット案件を獲得したことなどにより売上ベースでは堅調に推移したことに加え、外資系通信企業や国内電気機器関連企業からの受注増加もあり、売上高は前年同期比21.2%増の300百万円となりました。金融分野では、ディスクロージャー関連、特に株主総会関連資料の受注が堅調に推移したことに加え、国内の金融機関からの受注が増加したことから、売上高は前年同期比3.9%増の130百万円となりました。

利益面につきましては、売上原価率が低減したため、営業利益は前年同期比29.4%増の58百万円、経常利益は前年同期比31.5%増の57百万円、四半期純利益は前年同期比11.3%増の29百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は2,902百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円の減少となりました。

これは、前連結会計年度末に比べ流動資産が193百万円減少、固定資産が24百万円減少したことによるものであります。

主な要因は、流動資産の減少は未払法人税等の支払いや配当金の支払いなどにより現金及び預金が151百万円減少したことによるものであります。固定資産の減少は事務所移転に伴う敷金の返還等により投資その他の資産が29百万円減少したことによるものであります。

負債は819百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円の減少となりました。

主な要因は、買掛金や未払法人税等が減少したため流動負債が173百万円減少したことによるものであります。

純資産は2,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円の減少となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上により29百万円増加したものの、剰余金の配当により67百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

3月11日に発生した東日本大震災により、景気の先行きを見極めるのが非常に困難な状況ではありましたが、積極的な営業活動の結果、第1四半期は順調に推移しております。しかし、電力不足の影響や資源高騰、為替動向など、景気の先行きは予断を許さない状況が続いていることから、平成24年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成23年5月11日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,811,980	1,660,361
受取手形及び売掛金	726,925	697,092
仕掛品	52,772	55,611
その他	116,960	102,422
流動資産合計	2,708,638	2,515,488
固定資産		
有形固定資産	30,685	40,766
無形固定資産	147,632	143,084
投資その他の資産	232,904	203,153
固定資産合計	411,222	387,004
資産合計	3,119,860	2,902,493
負債の部		
流動負債		
買掛金	416,215	361,681
未払法人税等	114,235	31,274
賞与引当金	94,709	61,072
役員賞与引当金	32,000	9,450
その他	201,055	221,650
流動負債合計	858,214	685,129
固定負債		
退職給付引当金	83,654	88,318
役員退職慰労引当金	57,300	45,900
固定負債合計	140,954	134,218
負債合計	999,169	819,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	1,059,746	1,021,798
株主資本合計	2,127,012	2,089,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,017	△1,230
為替換算調整勘定	△5,304	△4,687
その他の包括利益累計額合計	△6,321	△5,918
純資産合計	2,120,691	2,083,145
負債純資産合計	3,119,860	2,902,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,054,464	1,217,575
売上原価	599,992	664,477
売上総利益	454,472	553,098
販売費及び一般管理費	409,439	494,816
営業利益	45,032	58,282
営業外収益		
受取手数料	—	192
その他	53	124
営業外収益合計	53	316
営業外費用		
為替差損	1,070	699
営業外費用合計	1,070	699
経常利益	44,015	57,899
特別利益		
貸倒引当金戻入額	321	—
特別利益合計	321	—
特別損失		
固定資産除却損	—	245
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,537	—
特別損失合計	5,537	245
税金等調整前四半期純利益	38,799	57,653
法人税等	12,359	28,222
少数株主損益調整前四半期純利益	26,440	29,431
四半期純利益	26,440	29,431

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,440	29,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△213	△213
為替換算調整勘定	335	616
その他の包括利益合計	121	402
四半期包括利益	26,561	29,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,561	29,834
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	翻訳事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,021,516	1,021,516	32,948	1,054,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,417	3,417
計	1,021,516	1,021,516	36,365	1,057,882
セグメント利益又は損失(△)	48,385	48,385	△1,388	46,996

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣翻訳事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	48,385
「その他」の区分の利益	△1,388
セグメント間取引消去	107
のれんの償却額	△2,071
四半期連結損益計算書の営業利益	45,032

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	翻訳事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,184,905	1,184,905	32,670	1,217,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	832	832	14,480	15,312
計	1,185,737	1,185,737	47,150	1,232,888
セグメント利益又は損失(△)	64,204	64,204	△3,988	60,216

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣翻訳事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	64,204
「その他」の区分の利益	△3,988
セグメント間取引消去	137
のれんの償却額	△2,071
四半期連結損益計算書の営業利益	58,282

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。